2016年12月8日
【第8回知の市場年次大会】
記念講演

互学互教のもと
地域への貢献を目指して

長谷川秀夫
薬学博士：科学技術アドバイザー

連携機関：狭山商工会議所
狭山市・さやま市民大学
アダムジャパン

1. 知の市場への参画
（1）受講者としての参画
（2）講師としての参画
・狭山を学ぶ　ものづくり編a
・狭山を学ぶ　ものづくり編b
・狭山を学ぶ　企業編b

2. 地域貢献を目指して
—さやまビリヤード愛好会の活動

知の市場；（1）受講者として参画

地域産業の「ものづくり」に関する支援・育成の基盤づくりを目指し、狭山市及び狭山商工会議所の助成を受けて36年間の「狭山市アイデアクラブ」の活動の終了と併行して、「知の市場；狭山を学ぶ　産業編」の開講が受講のきっかけとなった。

狭山市アイデアクラブ　会則　（創立1976年～　2012年解散）

第2条（目的）この会は、発明工夫等アイデアに関心を持つ同士的研究機関で、進んで地域社会の水準を高め産業文化の発展に寄与することを目的とする。

知の市場；（2）講師・受講者としての参画

(2-1) 狭山を学ぶ　ものづくり編ａ

狭山市は、2カ所の工業団地があり、その製造品出荷額は埼玉県内で上位にある。最初の「知の市場；狭山を学ぶ　産業編」を聴講し、種々の企業が存在することを知った。

過去の開発・研究に携わった職歴から、異業種間の「ものづくりにおける　ものの見方・考え方」に注目し、互学互教の場として聴講生と同時に講師として参画した。

講師としてレポートの提出を受けた受講者には全員コメントを返信した。それは講座の基盤となる「ものの見方・考え方」にある中で、実施した各講座に対して提出されたレポートから各自注目している視点が異なっていることに多くの学ぶべきことを教わった。

知の市場の講座を通して異業種間の交流を目指したい。

知の市場；（2)講師・受講者としての参画

(2-2) 狭山を学ぶ　企業編b

狭山市の代表的な地域産業はお茶に関わる産業である。

過去に食品・医薬品に携わってきた職歴及び日本食品標準成分表基礎データの作成、食薬区分の規制に関するミネラル検討並びに日本人の食事摂取基準の策定に携わってきた職務歴、そしてお茶の成分・組成の研究・開発から生まれたＭＲＩ用造影剤の医薬品化の経験を活かし「ものづくり」から「健康づくり」に展開し、講義名「お茶から始まる和食の文化と健康づくり」の講座を担当した。

“お茶”などの飲料や食品と健康は切り離せない関係にあるので、ものづくりを通じて健康への「ものの見方・考え方」について、知の市場を通じて互学互教と同時に実施することを目指したい。

- 狭山を学ぶ　企業編　ｂ

狭山を彩るものづくり企業編シリーズｂ　［ＹＢ６１１ｂ］

－　狭山工業団地エリア編　－

ものづくりにおける物の見方・考え方　(2011～2016)

受講者 ⇔ 講師

- 狭山を学ぶ　ものづくり編　ｂ　［ＹＢ６１２ｂ］

グローバルブランドを目指す狭山茶の全てを学ぶ

お茶から始まる和食の文化と健康づくり　(2014～2016)

受講者 ⇔ 講師

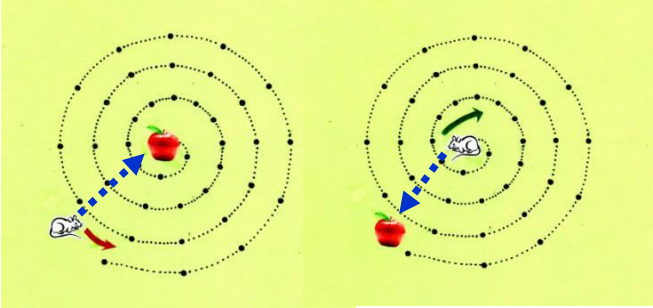
- 狭山を学ぶ　ものづくり編　ａ　［ＹＢ６１２ａ］

世界に羽ばたくものづくりシリーズａ　(2012)

受講者 ⇒ 地域活動へ

狭山を学ぶ　ものづくり編　ｂ　［ＹＢ６１２ｂ］
健康づくり

担当講座の主テーマ「ものの見方･考え方」シリーズの基盤となっている概念



いろいろな選択肢があることを知り柔軟に考える

知識というものは道具である。

餌を中心に置き、金網で見通しの効く渦巻き状の通路を設ける。その輪外にネズミを置くと、ネズミは中央の餌にありつく。しかし逆に餌を外に置き、ネズミを中心に入れると餌にありつくことが出来ない。何故か？
それは、前者の場合は常に中心の餌を見ながら前進することができるが、後者の場合、中央から餌のある外側に行くためには、学習能力により、一度、後ろ向きとなって餌から目を離なす学習能力を必要とすることによる。
これを生活の場、開発研究の場に当てはめると、目標に向かって邁進するあまり、周辺の見聞・調査、反省する機会を失い易いことに相当する。この行動・志向は、動物的本能の様である。

可視化・公表することによりその上をゆく！

安全対策・特許出願もその一つ

知の市場　理念
“互学互教”

教えることで自ら学ぶ。

日本の伝統的な食文化；

和食は、世界の無形遺産として登録された。

和食は、四季折々の食材を使い、自然の美しさを表した盛り付け、四季や地域的な多様性による新鮮な山海の幸を使用し、繊細で世界的に誇れる料理、おもてなしも大切にしている。

知の市場　；狭山茶の歴史と効能

第２回　狭山茶の歴史・その１　９月９日

講師　高橋光昭

テキスト　２ｐ　より抜粋

『喫茶養生記』

・養生の仙薬、延命の妙薬

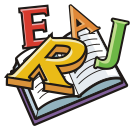
（　仙薬とは、万病の薬のこと）

⇒　好んで摂取することのない苦味を喫茶により補えば、延命長寿が叶う。

教科書的な情報・知識には条件がある。

知識というものは道具である。

情報は知識ではない



海外の料理 [+]

食材に濃い味のソースをかける味の足し算の料理

和食 [−]

食材の味わいを生かすために余分なものは加えない引き算の料理

（ うまみ ） （ 雑味 ）

京都大学大学院農学研究科　伏木　享

ダシの基本；昆布・鰹節

昆布由来のうまみ；グルタミン酸塩、アスパラギン酸塩

鰹節由来のうまみ；イノシン酸塩

雑 味 ；素材に含まれる少量の脂質など

設立の経緯・会員

さやま市民大学（旧元気大学）の「ビリヤード指導者養成コース」を修了した第１期生により2013年4月1日に設立され、以後は「知の市場主催」の同カリキュラムを受講修了した３期生により構成されています（現在28名）。

＜　会員資格　＞

ビリヤードに関する技術基礎講座受講修了者をもって組織されている。

・市民大学主催「ビリヤード指導者養成コース」修了証取得者

・狭山市商工会議所・狭山市主催「知の市場；狭山を学ぶものづくり編：ビリヤード」受講修了証取得者

＜　ビリヤード愛好会の目指すところ　＞

自らの健康は、社会貢献！

ビリヤード通じて交流の場を提供する。

軌道に乗った「さやまビリヤード愛好会」入会への流れ

１）体験講座（市民向け；狭山市広報）

後援；さやま市民大学

⇓　（体験講座5回目終了）

２）知の市場　ものづくり編；ビリヤードの講座受講

⇓受講修了者（第4期生を迎える）

３）活動の主旨に賛同した「さやまビリヤード愛好会」

会員数　28＋８＝36名

人は切っ掛けがあれば必ず成長する

＜　さやまビリヤード愛好会の目指すところ　＞

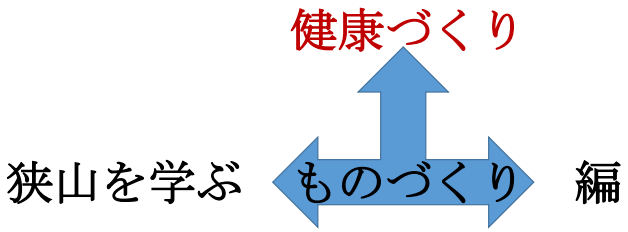
自らの健康は、社会貢献！

ビリヤード通じて交流の場を提供する。

学 思 行 あいまって良となす

学び、考え、実行して
初めて学んだことになる

江戸時代中期
細井平洲



知の市場の理念

互学互教＋互行！

連携機関　狭山商工会議所
狭山市；さやま市民大学
アダムジャパン